

平成 25 年
光遍寺行事予定

謹賀新年



仏華：赤井正一 様

新年明けましておめでとう
ございます。旧年中は光
遍寺護寺発展のため、ご尽
力をいただきました。本年も何卒よ
ろしくお願いいたします。
さて、今年の除夜会・修正
会では、「大切なものは目に
見えない」というお話をさせ
ていただきました。

光遍寺新聞



第 23 号

発行所

〒638-0315
奈良県吉野郡
天川村沢原 141
浄土真宗 本願寺派
仏照山 光遍寺

電話番号
0747-63-0638
ホームページ
<http://www.kouhenji.org>

今月の法語

忘れても
慈悲に照らされ
南無阿弥陀仏

(浅原才市)



3月17日(日)~23日(土)

春の彼岸会

毎晩 午後7時30分より

4月13日(土)、14日(日)

春の永代経・花祭り

花祭り：13日午前11時より

昼座：午後2時より

夜座：午後7時30分より

【布教使】

御所市 教学寺

板橋 宏憲 先生

6月?日(土)

第32回法灯の宴

8月10日(土)、11日(日)

お盆の永代経

昼座：午後2時より

夜座：午後7時30分より

【布教使】

大和高田市 光輪寺

北條 宗圀 先生

9月20日(金)~26日(木)

秋の彼岸会・天皇会

毎晩 午後7時30分より

10月12日(土)、13日(日)

報恩講

昼座：午後2時より

夜座：午後7時30分より

12日昼座後 お齋あり

【布教使】

大淀町 浄迎寺

花岡 尚樹 先生

10月24日(木)、25日(金)

第36回念仏奉仕団

12月31日(火)、1月1日(水)

除夜会・修正会

カレンダーに記入いた
だき、一度でも多く光遍
寺にお参りください。

サンリテグジュベリの童話
『星の王子さま』の中で、仲
良くなったキツネが別れ際、
王子にある秘密を教えます。
「大切なことはね、目に
見えないんだよ：」
私たちは常日頃、目に見
えるものを振り所とし、それ
を追いかけて生活していま
す。お金、仕事、健康：しか
し、年を重ねることに、それ
らが人生の目的、ましてや
振り所などにはなりえないこ
とは薄々感じられているので
はないでしょうか。本当に大
切なものは目に見えないもの
なのです。

奥が温かくなりませんか。
そして、その人の願い思いに
応えようと、生きる勇氣元
気が湧いてくるのではないで
しょうか。
ただ、現実的にはなかなか
かそうした生き方は難しい
です。親鸞聖人は、そんな
私たちの様子を『煩惱障眼雖
不見(まどい)の眼には見えね
ども』と鋭く指摘されます。
そして、こう続きます。『大
悲無倦常照我(ほとけは常
に照らします)』
「ほとけ」や「大悲」なんて
言葉が出てくると急に難し
く感じるかもしれませんが、
要するに、「愛しく大切
な方々が一体となって、私が
思う以上に私を思い、私が
願う以上に私を願ってくだ
さっているのですよ」といっ



除夜会 釣鐘堂 (撮影：森田正文 様)

とです。「究極の愛」の形で
す。このことに気付かないま
まで過ぎ去る人生は空しい
ものとなることでしょう。
今年一年、「見えないもの
の大切さ」を意識して、「究
極の愛」を感じながら、共に
生活させていたいただきたいと思
います。

光遍寺メール会員募集

光遍寺新聞が不定期のため、ご迷惑をおかけしております。そこで今年、光遍寺からのお知らせをメールでも配信したいと思います。ご希望の方は、お名前を明記したうえ guest@kouhenji.org まで送信してください。ただし、メールアドレスは他の目的では一切使用しませんのでご安心ください。(注)迷惑メール設定をされている場合は届かないことがありますので設定変更をお願いします。

第三五回光遍寺念仏奉仕団 親鸞聖人のおひざ元で念仏者としての自覚を

平成二十四年十月十八日(木)、十九日(金)、三十五回目となる光遍寺念仏奉仕団が実施されました。

念仏奉仕団は、愛山護法の精神を体現すべく、全国から本願寺の清掃奉仕を行うために集い、念仏者としての自覚と意識を高める機縁です。光遍寺も今回で三十五回目をむかえました。参加された方は皆さん参加してよかったとおっしゃいます。貴重なご縁でもありますし、是非本年の念仏奉

仕団(平成二十五年十月二十四日、二十五日)には、村内・村外在住の門信徒を問わず、一人でも多くの方が参加していただきたいと思えます。参加申し込みに関しましては、追ってご連絡いたします。昨年度は、十五回参加された五色の上田弘子様表彰されました。



第 35 回光遍寺・第 24 回光林寺 念仏奉仕団



清掃奉仕の様子



表彰される上田弘子様

阿弥ちゃん!!

「仏華」
お花を
仏様にお供えする
とします。



四季折々の
生花を
お供えして、
仏様の徳を
讃えましょう。



一般に、毒のある花、悪臭のある花、トゲのある植物の花は用いられません。必要はありません。

あくまでも、お供えするときは気持ちが大切なものです。
美しい花にはトゲがある



門信徒 広場

光遍寺の直面する問題の一つに後継者問題があります。過疎化・高齢化にともない、仏事の伝承が困難になってきているように感じます。すべて昔通りにする必要はないと思いますが、大切なものはできるだけ伝承し残していきたいものです。

その一つに、仏華が挙げられます。光遍寺の内陣にお供えする仏華は、現在、赤井正一さんが一手に引き受けてくださっていますが、後継者が育たないままでは、素晴らしい伝統が途絶えてしまいます。何とか仏華継承のため、後継者育成について、門信徒内で議論が深まることを期待しています。

仏華は手間暇がかかりすぎるため、造花でもいいのでは?とのご意見もありますが、仏華は造花ではいけないはっきりとした理由があるのです。せっかく活けた生花ですが、それは必ず枯れてしまいます。実はそれが大切なのです。枯れた生花を目の当たりにして、瑞々しい花が必ず枯れるように、「私たちの命も必ず終わるのだ」という事実気付かせていただくのです。そして、必ず終わる命だからこそ一日一日を大切にしていかなければならないとの決意ができるのです。仏華は私たちに対する仏様の尊い説法なのです。造花では相変わらずこの命が永遠に続く勘違いしたままになるかもしれません。ですから、光遍寺の仏華だけでなく、各家庭のご仏壇の仏華も是非生花を活けるようにしてください。

その他にも、仏華には様々な意味があります。

さて、ここで問題です。以下の①～④のうち仏華の意味として適当でないものはどれでしょうか?一つ選んでください。

- ① 仏様の慈悲を表す
- ② 仏様の徳を講える
- ③ お浄土の様子を表す
- ④ 仏様の智慧を表す

分かった方は光遍寺までご連絡ください。
正解者先着5名様まで記念品を用意しています。



庫裏玄関の松 (赤井正一様 作)

《前号(第22号)門信徒広場の答え》一年前の新聞ですが、覚えておられますか?
正解 ①がイ、②がエ、③がア、④がウ